

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	道路課担当課長	森 明彦
都整-19 道路整備計画等運営事務	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	道路課
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針
			道路・橋りょうの整備・維持管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。
効果	交通の円滑化、安全の確保等、交通環境の向上及び都市景観等の生活環境の向上を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

神奈川県都市計画街路事業促進協議会に加入し、その活動により都市計画道路の整備の促進を図った。

2 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
決算値(千円)	52	52	当初予算(千円)	106	
国県支出金			国県支出金		
地方債			地方債		
その他			その他		
一般財源	52	52	一般財源	106	
人員配置数	0.2	0.2	人員配置数	0.2	
人件費(千円)	1,697	1,705	人件費(千円)	1,652	
総事業費(千円)	1,749	1,757	総事業費(千円)	1,758	
市民1人当りの経費(円)	10	10	市民1人当りの経費(円)	10	
対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)		

3 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない		
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない		
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある		
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある		
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
			△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない	
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	協働実施済の場合のパートナー	
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他	見直しの内容	
	事業へ統合			
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	本事業は、県内市町村の相互の情報交換、研究会等を開催し、技術の向上を図ることなどを目的としている神奈川県都市計画街路事業促進協議会への負担金であり、積算根拠は人口を基準としていることから、予算規模は現状維持とする。	
総評(評価に対する考え方、根拠等)	都市計画道路を整備するにあたり、関連部局との調整、財源の確保、周辺住民等の理解が必要であることから、神奈川県都市計画街路促進協議会に加入し、その活動により都市計画道路の整備のあり方について引き続き検討を行う。また、その整備内容等について早い段階から市民へ提示することにより、その理解と協力を求める。			

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	中長期的な道路整備方針の策定にあたっては、将来的な交通体系や交通量等の予測が重要な要素であるとともに、沿道土地所有者の理解と協力が必要不可欠である。また、環境や景観への配慮についても考慮する必要がある。		
課題解決のために行った平成27年度の取組	短期的な道路整備計画の中で、バランスある取組を進めた。		☐ 解決 ☐ 一部解決 ☒ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	都市計画道路の整備は財政負担が多く、沿道地権者の理解と協力が必要となる。しかし、理解を得るには多くの時間を要する。また、道路整備方針を策定するには、沿道や景観への配慮に大きな課題がある。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	総人口(平成28年3月31日現在)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市	葉山町
他市実績	172,491	424,953	239,623	258,052	193,765	405,280	56,444	45,094	32,055
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉市の総人口					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		各年度1月1日付けの人口
神奈川県都市計画街路事業促進協議会負担金の一部は、人口を基準とする平等割分担金であるため。	目標値	174,301.0	174,198.0	173,980.0	173,655.0	173,232.0		172,708.0		
	実績値	173,448.0	173,223.0	172,666.0						
	達成率	99.5%	99.4%	99.2%						
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	総人口の減少に伴い、税収及び道路事業費も減少が見込まれるが、神奈川県都市計画街路事業促進協議会の規定により、分担金については、ほとんど変更がないと見込まれる。									

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☒ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--